

防ごう！！夏の山岳遭難！！

◆ ◆ 本格的な登山シーズン到来！！ ◆ ◆
十分な準備と無理のない行動を心掛け、安全に登山を楽しみましょう！！

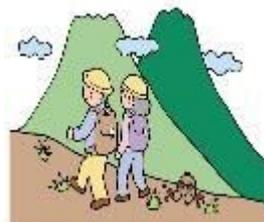
令和5年中における県内の山岳遭難認知状況

	発生件数	遭難者	うち死傷者
年間	19件	21人	7人
(7~8月)	9件	10人	1人

※特徴

◇遭難者21人のうち18人は中高年者(40歳以上)で、このうち高齢者(65歳以上)は8人でした。

◇態様別では、「疲労」が7人と最も多く、次いで「滑落」が5人、「道迷い」が3人、「病気」が3人、「転倒」が2人、「その他」が1人でした。



十分な装備と日程で！

- ◇日程と行動については、余裕を持った計画を立てましょう。
- ◇家族や職場等にも、登山の日程を伝えておきましょう。
- ◇水・食料・携帯電話(予備バッテリー等)を確実に持参しましょう。

単独登山は危険と隣り合わせ！

◇複数登山を心掛け、経験豊富なリーダーと行動しましょう。

体力にあった登山を！

◇自分やメンバーの体力、経験、技術に応じた登山をしましょう。



天候に注意を！

◇山の天気は急変しがち。悪化すれば引き返しましょう。



登山の際は『登山届』を提出しましょう。

提出先 ◇登山口届出ポスト、ロープウェイ乗り場など

◇警察本部地域課、警察署、交番・駐在所

※ オンライン登山届受理システム「コンパス」を利用すれば、インターネットで登山届を出すことができます。

コンパス二次元バーコード



※ もしも遭難した時は！

- ◇110番・119番で救助を求め、むやみに移動しないようにしましょう！
- ◇通報後は携帯電話の使用を控え、救助隊からの連絡を待ちましょう！
- ◇救助隊が近付いたら、音や光を出して自分の位置を知らせましょう！



防ごう！！夏の水難事故！！

- ◆ ◆ 本格的なマリンレジャーシーズン到来！！ ◆ ◆
十分な準備と無理のない行動を心掛けましょう！！

令和5年中における県内の水難事故認知状況

	発生件数	水難者	うち死傷者
年間	11件	12人	7人
(7～8月)	4件	5人	3人

※特徴

- ◇水難者12人のうち高齢者（65歳以上）は5人でした。
- ◇場所別では「海」が10人で最も多く、次いで「河川」が2人でした。
- ◇行為別では「魚とり（釣り）中」が3人で最も多く、次いで「通行中」が3人、「その他」が3人、「水泳」、「ボート遊び」、「水遊び」がそれぞれ1人ずつでした。

危険箇所の十分な把握を！

水難事故に遭わないよう、次のことに注意しましょう！！



魚とり・釣りでは転落等のおそれがある場所、水泳や水遊びでは水（海）藻が繁茂している場所、水温の変化や水流の激しい場所、深みのある場所等の危険箇所を事前に把握して、近づかないようにしましょう。また、子供を危険箇所に近づけないようにしましょう。

的確な状況判断を！

風雨、落雷等の天候不良時や上流で雨が降っている場合など、河川の増水のおそれが高いときには、釣りや水泳を行わないようにしましょう。また、体調が悪いとき、飲酒したときは、海、河川などに入らないようにしましょう。

ライフジャケットの活用を！

釣りやボート等に乗船するときは、必ずライフジャケットを着用（体のサイズに合った物を選び、正しく着用）しましょう。

遊泳時の安全確保の徹底を！

- ◇掲示板、標識等により危険区域と標示された区域内に入らないようにしましょう。
- ◇遊泳区域を標示する標識や浮き等を、移動したり壊さないでください。
- ◇遊泳区域以外の水域で遊泳しないようにしましょう。
- ◇遊泳中、他人に抱きつくなどの遊泳上危険な行為をしないようにしましょう。
- ◇遊泳に当たっては、水深や水流を考慮し、安全な方法で遊泳しましょう。

子供には保護者等の付添いを！

子供一人では水遊び等をさせず、幼児や泳げない学童等には、必ずライフジャケットを着用させ、保護者等が付き添うなどして、目を離さないようにしましょう。